

# 火の見櫓

(題字は 大松八尾市長)

発行所  
八尾市消防団  
発行責任者  
八尾市消防団長  
松村 康正  
八尾市高美町5-3-4  
TEL(072)992-0119  
FAX(072)992-7722  
刊行物番号 R4-144



**令和4年度大阪府消防団  
充実強化研究会**

令和5年2月19日(日)に行われた大阪府消防団充実強化研究会イベントに参加しました。我々は広報活動の事例発表の担当で、広報誌『火の見櫓』による広報活動についての演題で、広報部会堂田委員長・今仲副委員長・松倉副委員長の3名で発表を行いました。内容は、八尾市の概況、八尾市消防団の組織について、広報部会の活動内容や会議風景、記事の構成内容、地域の皆様の声、広報誌『火の見櫓』が紙媒体である有益性についてでした。その有益性として八尾市消防団の団員定数の充足率は98%を下回ったことがありません。情報発信のツールが多様化する中、そのツールを使いこなせない方々にもご覧いただける広報誌『火の見櫓』が団員確保に繋がっており、有益性が立証されています。

地域の皆様に消防団の活動をもっと広く知ってもらえるよう広報活動を充実させ、八尾市消防団が、様々な災害時に役立てるよう、さらなる鍛錬の必要性を感じた一日でした。

- ◆(久宝寺分団 堂田 隆治)写真上真ん中
- ◆(大正分団 今仲 幹夫)写真左上
- ◆(南高安分団 松倉 祥宏)写真右上

新たな災害に対応するために



団長 松村 康正

日ごろから、市民の皆様方におかれましては、消防団活動へのご理解・ご協力をいただいておりますことに對しまして、消防団員を代表いたしましたして、深くお礼を申し上げます。

また、消防団員の皆様は、昼夜を問わず八尾市民の安心・安全を守るため、郷土愛の精神をもって、ご尽力をいただいておりますことに心から感謝を申し上げます。

さて、近年の災害は地震や台風、局地的な豪雨など、これまでの常識を大きく超える大規模なものになってきていることや、人口動向、地域社会の状況等社会環境にも変化が見られ、市民を取り巻く災害環境は、「新たな災害環境」へと変化しつつあります。このようなことを踏まえ、八尾市消防団に

おきましては、大規模災害を想定した訓練を取り入れるとともに、消防活動の原則であります、火災現場を想定した訓練も併せて実施しているところでございます。

記憶の新しいところでは2月6日に発生しましたトルコ東南部を震源とした地震におきましては、甚大な被害が発生しており、阪神淡路大震災時の20倍以上の地震エネルギーであったとの報道がありました。私たちが住む八尾市におきましても、南海トラフ巨大地震の発生する確率が今後30年以内に70%〜80%程度と想定されています。

このように我々が経験したことの無いような災害が今後発生する可能性があるなか、「新たな災害」に対応するために、市民の皆様と消防関係者が日ごろから連携を強化し、更なる八尾市の安心・安全の確保に向け、消防団一同地域のために鋭利努力してまいりますので、団員の皆様におかれましては、引き続き地域防災力の要としてご尽力いただきますようお願い申し上げます。

大阪府消防表彰受章

令和4年度大阪府消防表彰として、本市からも大阪府知事表彰をはじめとして、多くの団員が栄えある表彰を受章しました。

【大阪府知事表彰】

○消防勤続功労章

団本部 副団長 藤本 哲也

○消防功労章

山本分団 副分団長 川西 明

志紀分団 副分団長 角倉 武士

龍華分団 副分団長 中家 一真

大正分団 副分団長 竹田 隆誠

志紀分団 部長 松本 昌幸

【日本消防協会会長表彰】

○功績章

団本部 副団長 藤本 哲也

【大阪府消防協会会長表彰】

○永年勤続章

団本部 副団長 藤本 哲也

志紀分団 部長 松本 昌幸

志紀分団 部長 山科 輝明

○功績章

団本部 副団長 岡井 淳治

○勤続章

南高安分団 分団長 北本 晃史

八尾分団 副分団長 中村 佳照

南高安分団 副分団長 浅井 孝一

山本分団 部長 藤井 保士

山本分団 部長 上野 純孝

山本分団 部長 山野 清

○勤功章

曙川分団 副分団長 北林 丈善

山本分団 副分団長 塚尾 誠一

龍華分団 部長 山崎 聡

大正分団 部長 今仲 幹夫

志紀分団 部長 野口 稔

西郡分団 部長 内田 一博

久宝寺分団 部長 高田 卓

南高安分団 部長 西尾 良彦

南高安分団 部長 浅井 康広

○精勤章

久宝寺分団 副分団長 藤原 道洋

曙川分団 部長 金武 正亮

山本分団 部長 岩田 兼一

久宝寺分団 部長 田口 裕晃

龍華分団 部長 妹尾 吉哲

高安分団 部長 奥野 幸生

志紀分団 部長 山本 和夫

志紀分団 部長 澤田 賢一

高安分団 班長 木島 良輔

八尾分団 班長 梶井 健太郎

南高安分団 班長 松倉 祥宏

南高安分団 班長 山本 大寛

西郡地区祭り警備

令和4年10月30日(日)に西郡地区のお祭りにて、我々西郡分団は防犯警備にあたらせていただきました。

ここ数年は新型コロナウイルスの影響でなかなか開催することができず、今年ようやく3年ぶりに開催されたということもあって、地域の市民の方々が本当に楽しそうな顔をされていたのが印象的でした。我々消防団も久しぶりの祭り警備ということで、た



くさんの地域の方々とお話することができてとてもうれしく思いましたし、このような地域の行事をとおして市民の方々の交流を深めることの大切さを改めて感じました。  
警備は無事何事もなく終了し、皆さん笑顔で祭りを終えることができたので安心しました。これからも西郡分団として、なにごとにも頑張って勤めさせて頂きますので西郡分団をよろしくお願います

◆(西郡分団 津曲 望)



綱引き贈呈式 (竜亀タートルズ)

令和4年10月16日(日)、龍華分団から竜亀タートルズに垂れ幕の贈呈式が行われました。

今年度3年ぶりに綱引きの全国大会が夏に開催され、高学年の部で優勝され、それを記念し龍華分団が垂れ幕の作成を依頼しました。

竜亀タートルズは、亀井小学校内の校区の幼年長から小学生の約30名で構成され、週1回亀井小学校の体育館で練習しています。

贈呈式は、廣岡分団長の挨拶から始まり、育成会会長・綱引き委



員代表の挨拶が続き優勝垂れ幕の授与となりました。そして、竜亀タートルズのキャプテンの挨拶があり、最後に全員で記念撮影を行いました。

贈呈式終了後、エキシビジョンで龍華分団と試合を行いました。

龍華分団は4名で、竜亀タートルズは10名です。低学年の子供たちには何とか勝利することが出来たのですが、チャンピオンチームの高学年の子供たちには全く歯が立ちませんでした。流石の一言です。

これからも、私たち龍華分団は今後も地域に貢献できる活動をしていきたいと思えます。

◆(龍華分団 堀西 康志)

### チェーンソー訓練

令和4年11月6日(日)、大阪府中部広域防災拠点において、八尾市消防団全体でのチェーンソー取扱訓練が行われ、曙川分団からは5名が参加しました。

訓練を行うにあたり、高度救助隊員より、チェーンソーの取扱方法や、危険予測についての説明がありました。

訓練では、各分団に配備されているチェーンソーを使用しました。ブレイキレバーを倒しスイッチを入れ、チェーンソーを安定した位置に置き、スターターロープを数回引いてエンジンを始動させます。台の上の木材を一人が押



さえて固定し、もう一人がチェーンソーで木材を切る作業を行いました。チェーンソーを使つての作業は事故が起こる可能性が極めて高いため、法改正で防護ズボン(チャップス)の着用が義務化されたことにより、保護具も追加配備されました。今回の訓練では、保護具を着用して安全対策を行い、訓練が実施されました。

チェーンソーを使用する際に、チョークを引いてもエンジンがすぐに始動しにくい時もあるため、日頃からのメンテナンスをしっかり行い、いつ起こるかわからない災害に対して迅速に使えるよう準備しておくことが大事だと思われました。

◆(曙川分団 齋藤 勝義)

### 秋の火災予防パトロール

令和4年11月9日～11月15日にかけて火災予防運動を実施し、地域のパトロールを行いました。

高安地区は幸い例年に比べ、今年度は火災などによる出動が少なかったように思いますが、今後より一層寒さが増すに連れ、一般家庭等における暖房器具類の使用がおのずと増えてくると思いますが、火災による災害のリスクも増えてくると思います。非常時の有事に対する備えの徹底や、火災予防広報パトロールによ



る地域住民の方々への周知を行うことによって、災害を最小限に収めることが我々消防団の役割かと思えます。

今後も消防団としての活動を通じて、地域住民の方々とはふれあうことによって、地域全体の防災意識の底上げに繋がれば幸いです。と思いますので、引き続き消防団活動に邁進していきたいと思

◆(高安分団 上田 聡)

団員による救命講習

令和4年11月12日(土)に、志紀分団田井中分隊の屯所に於いて、胸骨圧迫訓練機を用いた講習会を実施しました。

志紀分団の若手団員を中心に集まり、AEDの取り扱い方法や胸骨圧迫のやり方、団員が人命救助の場面に遭遇した時の体験談の公聴などを行いました。

AEDや胸骨圧迫機については、使用方法の説明を受けた後に、各団員が実際に操作しました。特に胸骨圧迫は、想像以上の力での圧迫が必要だったようで、少し驚



いている団員も見受けられました。

また、体験談では、銭湯で突然倒れた方をたまたま居合わせた団員が、救急車到着までの間、心臓マッサージを行い、一命を取り留めたという話などが紹介され、若手団員は熱心に耳を傾けていました。

今回の講習を生かし、実際にこのような場面に遭遇した場合には、沈着冷静に対処したいものです。

◆(志紀分団 中野 宏志)



第27回全国女性消防団員活性化徳島大会

令和4年11月22日(火)、全国女性消防団員活性化大会が徳島県で開催され、八尾市消防団から中谷・寒川の2名が参加しました。

和歌山市消防団が行っていた防火防災啓発劇では、郷土の歴史を題材にされていて、とても印象に残りました。和歌山市消防局マスコットキャラクター「和びつとちゃん」も登場し、子供にもわかりやすい内容で工夫されていてとてもよかったです。

パネルディスカッションでは、青森県がとてもしんぱくとのある消防団員募集のラッピングカ



ーを紹介されており、ラッピングカーの効果で団員さんの入団があつたということで、当市でもそのようなことができれば良いなと思えました。

10年後、消防団がどうあるべきかというディスカッションも行なわれ、これからもっと消防団の認知度が上がり、みんなが「消防団に入りたい」と思えるような消防団にしていきたいと思いました。

今回の活性化大会の参加人数は、例年の半数ほどでしたが、内容が濃く全国の消防団の熱意が感じられました。今回の活性化大会に参加させていただいたことで、私自身とても良い刺激を受けたので、今後の消防団活動に繋がってほしいと思います。

◆(女性分団 中谷 美和子)



久宝寺地区防災訓練

令和4年11月27日(日)、久宝寺小学校にて、久宝寺まち協防災訓練が行われました。

多くの地域の方にご参加いただき、実演や消防活動の説明を行い、参加いただいた方達がとても熱心に話を傾け、積極的に訓練に参加され、訓練の重要性を再確認することができました。

訓練内容は、水を使った消火器での水消火器訓練、可搬式小型ポンプ訓練、模擬の小屋を用いた救出訓練、車椅子取扱い訓練、避難所開設訓練、布担架訓練を体験していただきました。

消防署員の方にも、災害に対する普段からの備えの重要さや第



一に自身の身の安全確保が大事な事だとお話をいただき、消防団としても災害などの有事に普段から備えることの重要性を再確認することができました。

訓練をしている中で、積極的にわからない事など質問をされ、地域の方達の防災への意識の向上、消防団の団員のスキルアップに繋がる良い経験になりました。

団員として今後いつ起こり得るかわからない災害に対して、改めて今何を考えておくべきか、何をすべきか、今回の訓練でより深く考えるきっかけとなり、消防団活動で得た経験を普段から大切な家族や仲間にも伝え、災害に備えたいと思います。

◆(久宝寺分団 佐野 吉宏)

福万寺ポンプ積載車の更新

令和4年12月に山本分団福万寺分隊、大正分団太田分隊の2台の消防団車両が更新されました。

福万寺屯所に配備されている可搬ポンプ積載車が新車両になるという話を聞いて早2〜3年、待ちに待った消防車納車の日。

令和4年12月4日(日)、消防本部にて、車両の説明や積み込みんでいる機材の説明を心わくわくさせながら聞きました。

最近の車両のライトはLEDに変わりとても明るく、私たち団員の気持ちも明るくなりました。



今回参加出来なかった団員に、旧車両との違いを説明できるようにメーカー担当者の説明を必死に聞きました。

新しい機材には便利なものがたくさんあり、次回の出動時にはきちんと取り扱い方法を理解した状態で臨みたいです。

納車後、地元の三十八神社にてお祓いを無事済ませ、新たな気持ちで令和5年を迎えることが出来るそうです。

◆(山本分団 岩崎 裕司)



令和4年歳末夜警

令和4年12月29日(木)30日(金)

の2日間、歳末特別警戒パトロールを実施しました。

南高安分団は、ポンプ車3台を活用し、管轄地域内の防火広報活動を行いました。

29日には団長激励として、松村団長を始め消防団幹部、消防本部幹部の方々、そして大松市長より激励の言葉をいただきました。年内の活動を終えてほっとした気持ちと、これから起こりうるで



あるう大規模災害に備え、有事の際にはしっかりと活動ができるよう、より一層気を引き締めなければならぬという気持ちになりました。

これからも我々消防団員として、八尾市の安心・安全なまちづくりのため、地域の方々や各種団体の方々と連携を図りながら、地域防災に役立てたらと思います。

◆(南高安分団 松倉 祥宏)



とんど

大正分団管内

大正分団管内で行われたとんど祭の様子をお伝えいたします。

大正分団は太田、木の本の2分隊があり、1月8日(日)は南木の本、1月14日(土)は北木の本、1月15日(日)は木の本で各地に祀られている樟本神社三社にてとんどが実施され、1月15日(日)に太田八幡宮でとんど祭りが行われました。火を取り



扱う行為の為、我々大正分団の各分隊も参加し、協力しました。

地域役員の皆さんととんどの温もりを囲みながら、地域防災力向上の話題を主にコミュニケーションを図りました。

今後も消防団が地域に根付いた組織であってほしい。地域の皆様と共に住んでいる町を守っていきたく感じました。

◆(大正分団 今仲 幹夫)

西田 祥久

火の用心



文化財訓練(慈願寺)

令和5年1月24日(火)、本町にある慈願寺において文化財訓練が行われました。消防職員30名、八尾分団4名、慈願寺関係者3名が参加しました。

毎年1月26日は「文化財防火デー」です。昭和24年1月26日に現存する世界最古の木造建築物である法隆寺の金堂が炎上し、壁画が消失したことから定められ、文化財保護の訓練が全国各地で行われるようになりました。



訓練は、慈願寺関係者による「通報訓練」「避難訓練」「初期消火訓練」「心肺蘇生訓練」や消防隊、消防団によるホース延長、一斉放水訓練を行いました。文化財訓練をすることで、各々の文化財保護意識を高めることができました。

12月から2月は火災が最も発生しやすい時期ですので、八尾の貴重な文化財をみんなで火災から守れるようにしなければなりません。

◆(八尾分団 梅本 司)

令和5年度 消防団年間行事予定

- 4月 消防団員任命式  
恩智川水防訓練
- 5月 大阪府地域防災総合演習  
初任基礎教育訓練A課程
- 6月 初任基礎教育訓練B課程
- 7月 中河内地区支部消防総合訓練
- 8月 女性分団FMちやお出演
- 9月 大阪府消防大会  
八尾河内音頭まつり警備
- 11月 消防総合訓練  
秋の火災予防運動  
健康診断
- 水防視察研修
- 全国女性消防団員活性化大会
- 12月 大阪府女性消防団員連絡会議  
歳末特別警戒
- 1月 消防出初式  
文化財訓練
- 2月 防災リーダー養成講習  
消防団充実強化研究会
- 3月 春の火災予防運動  
消防記念日式典  
大阪府消防表彰式

編集後記

今回、委員長という大役を任せられ、不安な面もありましたが、各分団の広報委員の方々に助けていただきながら、無事に第46号・第47号を刊行する事が出来ました。未熟ではございましたが、1年間支えていただき、本当にありがとうございました。これからの広報部会のご活躍、そして、火の見櫓を楽しみにしております。

堂田 隆治

広報部員名簿

委員長	久宝寺分団	堂田 隆治
副委員長	大正分団	今仲 幹夫
委員	南高分団	松倉 祥宏
	久宝寺分団	佐野 吉宏
	西郡分団	津曲 望
	八尾分団	浅野 一昭
	龍華分団	梅本 剛裕
	大正分団	大内 一宏
	曙川分団	堀西 康志
	南高分団	西田 祥久
	南高分団	齋藤 直也
	高安分団	齋藤 勝樹
	山本分団	堀内 英樹
	志紀分団	上田 孝聡
		貴島 浩
		渡瀬 太一
		岩崎 裕司
		中野 宏志
		竹田 哲郎